

幸地ハイツ自治会が 青少年健全育成事業を実施

宝くじの普及事業である「平成25年度コミュニティ助成事業」の青少年健全育成事業で助成を受けた幸地ハイツ自治会（仲程武会長）が、7月7日に親子親善・交流ボウリング大会を、8月17日と18日に国頭村環境教育センター「やんばる学びの森」で親子自然体験宿泊研修を行いました。仲程会長は事業の実施にあたり「この事業を通し、親子の親睦、交流が図られ、互いの絆も深まり今後の自治会活動も活発になります」と喜びを語りました。



いとはときまさ 伊波 農 雅氏が暴力追放功労表彰を受ける

浦添・西原地区ゴルフ場等暴力団排除対策協議会の会長を務める伊波農雅氏（森川ゴルフガーデン代表者）が、平成25年度九州管区警察局長及び九州ブロック暴力団追放運動推進センター連絡協議会会長連盟による「暴力追放功労表彰」を受賞しました。

伊波氏は、浦添警察署が新設される昭和60年以前より暴力団排除連絡協議会理事として活動しており、これまで28年以上にわたって同協議会の会長として暴力団排除活動に尽力しました。



伊波農雅氏（写真中央）

町内の学童がドッジボールで交流

西原町内にある学童保育所が交流を深めるため「第3回西原町学童保育連絡会交流ドッジボール大会（西原町学童保育連絡会主催）」が、8月15日に町民体育館で開催されました。

開催にあたって同会の山内奈保子会長は「子どもたちはこの大会を楽しみにしているし、回を重ねるごとに互いの学童保育所との距離が縮まり、いい連携ができるようになった」と、大会の成果を語りました。



大会には8か所の学童保育所から約300名の子どもたちが参加し、熱戦を展開しました。

まちの話題

2013

楽しいね、いろんな言葉で読み聞かせ

沖縄キリスト教学院大学のサークル「N.I.C」が主催する英語の読み聞かせイベント「Rabbit of Kingdom III」が、8月11日に西原町立図書館で開催されました。参加した子どもたちは、英語で読まれる絵本を必死に聞いたり英語で進行するゲームに参加して、イベントを楽しみました。

またこの日は初めての試みとして、韓国語の読み聞かせが実施されました。読み聞かせを行った洪智善さんは、日本語と韓国語で交互に絵本のストーリーを読み上げ、親子連れなどが韓国語の雰囲気を楽しみました。



英語でゲームを楽しむ子どもたち



韓国語の読み聞かせ

トウシビーを祝って、記念品を贈呈

今年、西原町では97名がトーチ（米寿）を、37名がカジマヤーを、10名の方が新100歳を迎えました（平成25年9月1日時点）。それを記念し、敬老のお祝いとして西原町からトーチ、カジマヤー、新100歳を迎えた方に対して記念品を贈呈し、お祝いしています。

今年度も、上間明町長が慶祝を迎えた方々を訪問し、記念品を贈呈しました。8月28日の訪問は、海外移住者子弟研修生受入事業で西原町に滞在している2名の研修生も同行し、対象者を祝福しました。呉屋春子さんのお宅に訪問した際は、アルゼンチン出身の研修生、小橋川ジェシカ・マリアさんの祖父のつながりが分かり、思い出話に花が咲きました。



上間町長に報告する西原高校マーチングバンド部のみなさん

おめでとう!! 西原高校マーチングバンド部 世界大会で金賞を受賞!

7月27日・28日にオランダのケルクラードで開催された「第17回世界音楽コンテスト（World Music Contest）」のパレード部門とショー部門に、西原高校マーチングバンド部が出場。両部門とも金賞に輝く快挙を成し遂げました。

この大会は、西原高校が出場した2部門以外にも声楽や管楽器などの部門が開催される、総合的な音楽の世界大会で、周辺国からも観客が訪れる歴史と権威のある催しです。2009年以来、5度目の出場となった同部は、9,000人の観客が見守る中、堂々の演奏や演舞を披露しました。演奏後は、生徒たちを称える観客のスタンディングオベーションが5分以上続いたそうです。

部長の新垣梨奈さんは大会を振り返り「スタンディングオベーションにとっても感動した。いい賞が取れて、思い残すことなく実力を出し切ることができた。一生の財産になるともいえる経験だったと思うので、これから生かしていきたい」と語りました。

また同部は、大会後の7月30日にフランスの首都パリにあるベルシー公園でパレードと野外コンサートを開催。8月1日には音楽の都といわれるオーストリアの首都ウィーンにあるシェーンブルン宮殿でパレードと宮庭コンサートを行い、現地の人前で磨き上げた演奏を披露しました。シェーンブルン宮殿はかつて、マリアアントワネットが住み、ナポレオ



↑ パリの公園での演奏会



← 世界大会で躍動する西原高校マーチングバンド部



↑ 世界遺産シェーンブルン宮殿の前で演奏



上間町長に報告する西原高校マーチングバンド部のみなさん

ンも使用した歴史ある建物で、現在は世界遺産に指定されています。パリとウィーンでの演奏について、同校の玉城哲也校長は「これまで積み重ねてきた実績が評価されて、演奏の許可をいただけた。その場所でもあまり例がない光栄なこと」と説明しました。

また、金城佳乃子さん（3年）は「コンクールや宮殿などで演奏した経験は、大きな自信になった。このような機会に恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです」と遠征を振り返りました。

ヨーロッパでの活躍を受け、上間明町長は「これまで築き上げてきた伝統と日ごろからの練習の成果があつて、晴れの舞台ですばらしい結果につながったと思う。心から感動を覚え、誇りに思う。今回の快挙は、他の分野にも大きな刺激になるだろう」と祝福しました。さらに「引率した先生、指導に関わった先生方に、心から敬意を表します」とねぎらいました。

西原高校マーチングバンド部は、西原まつりの出演が決定しており、10月26日にまつり会場での演奏を披露します。